

謹賀新年



あけましておめでとうございます。

さわやかな新年を市民の皆様とともにお迎えますことを心からお慶び申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、何といても「北あきたバター餅」のブームではないでしょうか。4月のテレビ放送をきっかけとして、「北あきたバター餅」そして北秋田市を徹底的に売り込もうということで「BM-1グランプリ」の開催や7月の日本バター餅協会の設立及び北秋田市「バター餅の里宣言」、商標登録やゆるキャラ「バタもち」と「バターもちのうた」など矢継ぎ早の展開を続け、「ニッポン全国ご当地おやつランキング」で見事4位入賞を果たしたことで、ブームに拍車がかかり、全国的にも北秋田市を大いに売り込むことができました。本年も、この盛り上がりを一過性にすることがないようにあらゆる売り込みを継続的に行ってまいりたいと考えております。

さて、昨年は1月の豪雪被害による災害対策本部設置にはじまり、3月の融雪や4月の爆弾低気圧により、住家や農業施設などに大きな被害が発生するなど、自然の猛威を改めて痛感いたしました。市民の安全安心の確保を最優先にするためにも、昨年から取り組んでおりますエリアメール・防災メールの拡充や自主防災組織の支援育成、空き家対策などをさらに推進してまいります。

また、3月の森吉山ダムの完成や4月の新生合川小学校の開校、米内沢小学校新校舎の完成、さらには日沿道全線開通への大きな一歩となります「二ツ井今泉道路・鷹巣西道路中心杭設置式」の挙行、懸案でありました市民病院の門前薬局の開局など明るい話題もありました。さらには、バレーボールジュニアユースの全日本メンバーに選抜され、世界の舞台で堂々と戦ってきた男女2人の中学生選手の活躍や東北駅伝大会で男女アベック優勝をした鷹巣駅伝チームの健闘は、私たちに大きな希望と誇りを与えてくれました。

昨年も、誘致済み企業の親企業などへの訪問を始めとして、あらゆる機会を捉えて国内外へ北秋田市をPRしてまいりました。結果として、バター餅ブームはもとより誘致済み企業による雇用増や都内アンテナショップでの取り扱い業者や品目の増などにつなげることができ、少しずつではありますが北秋田市の知名度も上がってきたものと感じております。

そして、本年秋には、いよいよ秋田県を中心としたディスティネーションキャンペーンが始まりますし、平成26年の国民文化祭への取り組みも本格化し、その機運も高まってまいりました。鷹ノ巣駅前には、駅なかショップ「7 to 7」やゼロダテアートセンタータカノもオープンし、街なかの賑わい復活の兆しが見えております。北秋田市を訪れた多くの皆様が心から満足して頂けるような心温まるおもてなしに、ぜひとも市民一丸となって取り組んでまいりたいと思っております。

さらに、旧北秋中央病院跡地の利活用策として、市民の「憩い」「交流」「賑わい」をコンセプトにした地域の新たな活力と賑わいが創出できるような拠点施設を整備し、鷹ノ巣前から商店街へと続く、中心市街地の活性化に結び付けてまいりたいと考えております。

市にはまだまだ解決すべき課題がございますが、決して先送りすることなく、市民が潤い、市全体が元気を取り戻せるような取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年もより輝かしい一年になりますことをご祈念申し上げて、新年のご挨拶といたします。

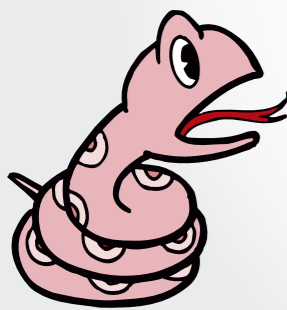
平成25年 元旦

北秋田市長 津谷 永光

今年 は 巳年

巳年は十二支の6番目の律暦志によると「巳(い：止む)」の意味で、草木の成長が極限に達した状態を表しているといわれています。後に、庶民に十二支を浸透させるために、わかりやすく動物の蛇を当てたといわれていますが、その理由ははっきりしていません。蛇は神格化され、聖書や神話にもしばしば登場するなど、いろいろな話が世界各地に伝わっています。日本では七福神の弁財天のお使いとしても知られており、水の神として信仰されたり、家の守り神として家に棲むのを喜んだり、お金を運んでくれる動物として崇められたりする例もあります。

蛇は古くから人とかかわりが多い動物だけに、蛇に関する故事やことわざもいろいろあります。「蛇(じや)の道は蛇(へび)は、同類のすることは、その方面の者にはすぐわかるというたとえ。」「蛇足」には、こんな由来があります。昔、中国の楚の国で、蛇の絵をはやく描く競争をした時、最初に描き上げた者がつい足まで描いてしまったために負けたという話です。そのことから、あつても意味のないもの、余計なことという意味に使われています。また、蛇は脱皮するその姿がこれまでの古い考え方から抜け出して一段と進歩することにとえられ、その力強い生命力から不死と再生の象徴とされてきました。今年には蛇にあやかり、低迷している景気から抜け出し、みんなが安心して暮らせる年でありましように。



平成25年の主な行事予定

- 1月1日 元旦マラソン／元旦倉ノ山登山／大太鼓叩き初め
- 12日 森吉山樹氷観賞(3月10日)
- 15日 雪中田植え
- 2月9日 市民スキー大会
- 27日 もちっこ市(10日)
- 3月20日 万灯火
- 4月27日 森吉山阿仁スキー場春営業(5月6日)
- 熊牧場オープン／鷹巣中央公園桜まつり(5月上旬)
- 5月3日 森吉山山開き
- 6月1日 竜ヶ森山開き／太平湖水開き／阿仁スキー場ゴンドラ運行(10月下旬)
- 2日 ふるさと踊りと餅っこまつり
- 7月上旬 北秋田市米代川花火大会
- 14日 八幡宮綴子神社例大祭(15日)
- 中旬 合川あじさいまつり
- 8月7日 森吉山麓たなばた火まつり
- 14日 合川ふるさとまつり・まと火／根子番楽／市民盆踊り大会
- 成人式
- 15日 阿仁の花火と灯籠流し
- 16日 北秋田市民俗芸能大会
- 下旬 たかのす大鼓まつり
- 9月8日 縄文まつり／空港スカイフェスタ
- 10月下旬 100キロチャレンジマラソン
- 11月上旬 北秋田市産業祭／北秋田市文化祭 浜辺の歌音楽祭



森吉山阿仁スキー場のゴンドラ運行



ふるさと踊りと餅っこまつり